



令和3年6月16日(水)

国土交通省関東地方整備局

港湾空港部

記者発表資料

第3回横浜港シェアリングエコノミー研究会を開催します

関東地方整備局では、国際コンテナ戦略港湾京浜港の国際競争力強化を図るため、コンテナ輸送の効率化、生産性向上に向けた取組みを推進しています。

その一環として、コンテナターミナル周辺の混雑やドライバー不足など、ドレージ環境が悪化する中、シャーシの位置情報を活用しつつシェアリングすることにより、シャーシ運用の効率性向上や、走行距離の削減、コンテナターミナル周辺の混雑解消等、輸送の効率化と陸運事業者の業務軽減などの生産性向上を通じて、横浜港の国際競争力強化に寄与することを目的とし、各関係者・関係行政機関等による「横浜港シェアリングエコノミー研究会」を設置し、ICTを活用したシャーシシェアリングのあり方について検討を行っています。

今般、以下のとおり、第3回横浜港シェアリングエコノミー研究会を開催し、位置情報取得端末を取り付けてシャーシの動態を把握するシャーシ位置情報管理実験の実施結果、およびシェアリング用シャーシ、予約システムを用いた実証実験の実施内容等を報告します。

日時：令和3年6月18日(金) 15:00～16:00

場所：横浜第二合同庁舎14階141会議室（Web会議併用）

議事：○シャーシ位置情報管理実験結果の報告

○シャーシシェアリング実証実験の実施内容(別紙1)

○今後のスケジュール

参加組織：別紙2のとおり

取材について

- ・新型コロナウイルス感染症対策のため、取材はお断りさせていただきます。
- ・議事概要については、会議終了後に関東地方整備局港湾空港部HPにて公表いたします。

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ・神奈川建設記者会・横浜海事記者クラブ・物流専門紙・その他専門紙

問い合わせ先

関東地方整備局 港湾空港部 クルーズ振興・港湾物流企画室

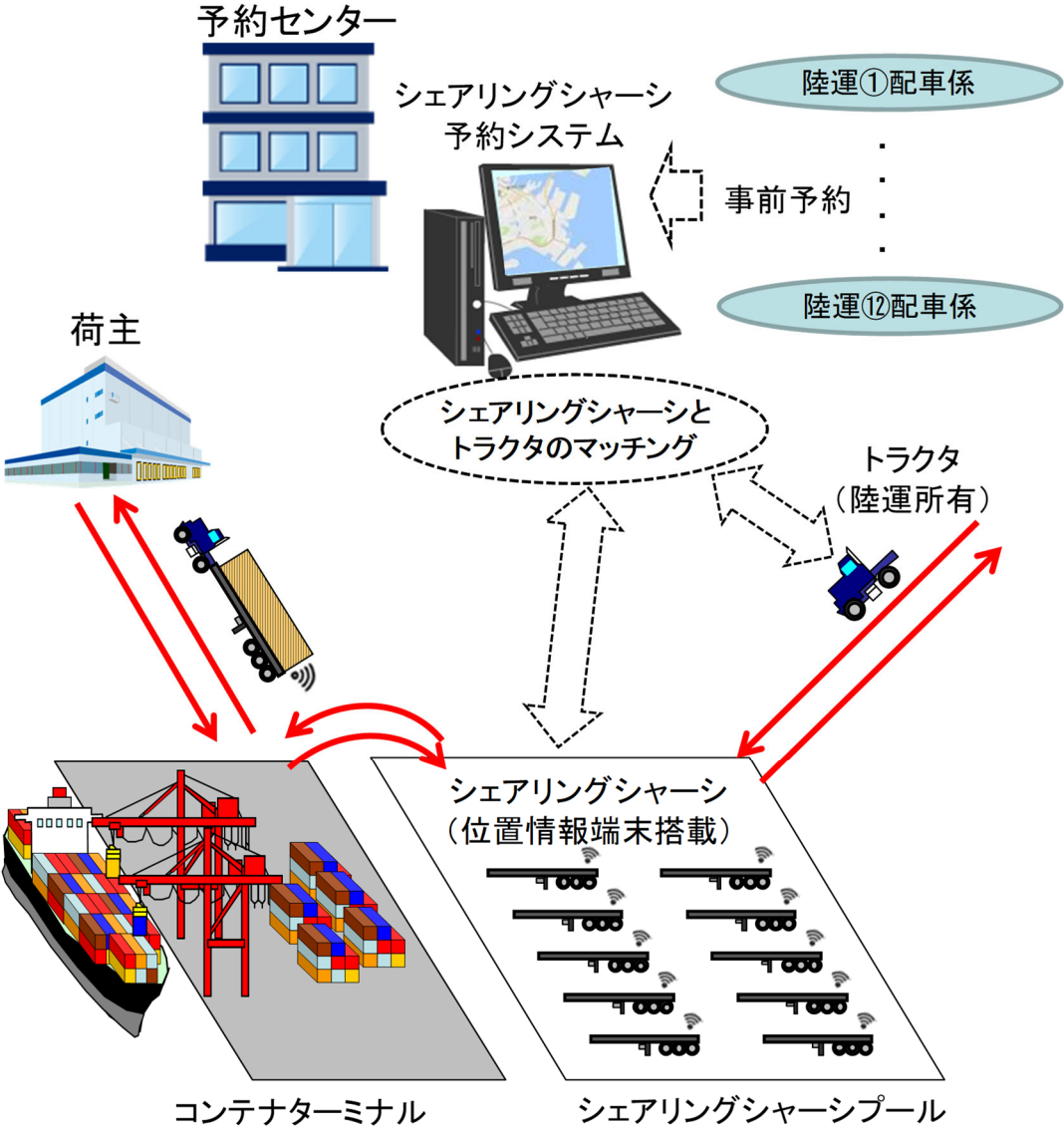
室長 越智 紀昭（おち のりあき）

課長補佐 齋藤 泰之（さいとう やすゆき）

電話 045-211-7437 FAX 045-211-0204

シャーシシェアリング実証実験の実施内容

- 実施期間：令和3年6月21日(月)～7月17日(土) ※日曜日を除く
- シャーシプール設置場所：横浜港南本牧ふ頭
- シェアリングシャーシ：10台
 - (内訳) 20ft コンテナ用シャーシ 4台
 - 40ft コンテナ用シャーシ 4台
 - 20ft・40ft コンテナ兼用シャーシ 2台
- 参加者：陸運事業者 12社
- 検証内容
 - ・シェアリング用シャーシを活用した輸送や車両管理の効率化の検証
 - ・シェアリングシャーシ予約システムを試験し、使い勝手やシステムの運用方法を評価するとともに、実用化に向けた課題を抽出
 - ・シェアリング用シャーシの利用に係る諸手続きを通じ、事業化に向けた手続きの確認や、運営上・制度上の課題を抽出



シャーシシェアリング実証実験のイメージ

横浜港シェアリングエコノミー研究会 参加組織一覧

種別	組織名（順不同）
陸運事業者	宇徳ロジスティクス株式会社
	株式会社上組
	株式会社京浜トレーディング
	株式会社日新
	京濱港運株式会社
	国際コンテナ輸送株式会社
	鈴江コンテナ・トランスポート株式会社
	日本コンテナ輸送株式会社
	日本通運株式会社
	早川海陸輸送株式会社
	藤木陸運株式会社
	菱倉運輸株式会社
関係企業団体	一般社団法人シェアリングエコノミー協会
	神奈川倉庫協会
	京浜海運貨物取扱同業会
	横浜川崎国際港湾株式会社
関係行政機関	国土交通省 関東運輸局 自動車交通部
	国土交通省 関東地方整備局 港湾空港部
	国土交通省 関東地方整備局 道路部
	国土交通省 港湾局 港湾経済課
	横浜市 港湾局 港湾物流部
オブザーバー	川崎市 港湾局 経営企画課
	国土交通省 近畿地方整備局 港湾空港部
	国土交通省 中部地方整備局 港湾空港部